

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	地域農業経済拡大プロジェクト事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	農業課		包含する細々目	1	6	1	4	31	1	1,200
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	地域経済活性化プログラム2007						
		事業期間	18年度	～	20年度	関連計画条例等						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	市内農業者が組合員となっている農業協同組合等	対象組合数(団体)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			4	4			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	マーケティング力を強化してもらう	農産物販売高(億円)	18目標	203	最終目標		
			18実績		19目標	204	↑
			23目標	224	23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
			18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	<ul style="list-style-type: none"> 地域経済活性化プログラムに基づく協定の締結に至った農協等別に市との合同プロジェクトチームを設置。専門アドバイザーの支援も受け生産販売額を拡大するための戦略シナリオづくりと、リーディング事業を実施する。 JAとは引き続き直販機能の強化や消費者や量販店との連携強化に向けた取り組みを重点とした事業展開を図る。また、市田柿、南水、アスパラガス、やまびこしめじを重点品目に販売力強化のための事業を実施する。 園協とは市田柿、南水を重点品目に更なるブランド販売力の強化のための事業に取り組む。 竜峽酪農協とは加工乳製品のブランド販売を重点テーマにした事業を実施する。 飯田花卉組合とはプロジェクト内で重点テーマを設定しリーディング事業の実施に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> みなみ信州農協 消費者、流通販売事業者対象の産地ツアー実施 交流農園事業実施 販促会、販売戦略学習会、消費者インタビュー等の実施 下伊那園芸農協 台湾向け市田柿新商品の開発 竜協酪農協 ヨーグルト新商品の開発 	<ul style="list-style-type: none"> 産地ツアー回数(回) 交流事業回数(回) その他実施事業数 開発商品数 開発商品数 	<ul style="list-style-type: none"> 3 3 6 2 1
		<ul style="list-style-type: none"> JA、園協、酪酪、飯田花卉組合とのプロジェクト事業の実施 具体的な事業内容は各農協の意向を基に協議し決定する。(300千円×4組合) 	プロジェクト会議	20

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	493	1,200
事業費計(A)	493	1,200	
人件費	正規職員所要時間	18年度 400	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,430	0
	トータルコストA+B	1,923	1,200

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	出荷額等を高める活動をする	既存農業者の産出額(農業):億円	現状値	119.3	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	139.1
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>・経済自立度アップのための地域経済活性化プログラムの具体化。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>・輸入農産物の増加、産地間競争の激化、産地側にとって厳しい流通販売構造、青果物を中心とした農産物消費量の減少傾向の中で、農産物価格が長期低迷している。こうした状況に飲み込まれない産地づくりが急務であり、そのためには、産地独自のマーケティング活動を通して販売戦略を構築し、消費者・実需者に向けた積極的に提案・アプローチしていくことが必要になっている。</p> <p>・各農協における17年産農産物の販売状況は、果実、野菜、菌茸を中心に販売単価の低迷が顕著であった。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p>
--	--	-----------------------

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) 結びつく (その理由)</p> <p>相当数の地域農業者が構成員となり、農業産出額中も大きなウエイトを占める各農協同組合等のマーケティング力の強化は地域農業全体の生産額拡大に結びつく。</p>	有効性評価	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) 余地がある (その理由)</p> <p>戦略が明確になればリーディング事業等の事業効果が高まる。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がある (その理由)</p> <p>飯田花卉組合(任意組織)も対象に加える。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) 影響あり (その理由)</p> <p>活性化プログラムが本格スタートする現時点で、地域農業のけん引役である各農協と連携した取り組みを起さなければ、地域農業の縮小傾向に一層歯止めが掛からなくなる。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>地域農業の生産額拡大のためには各農協等のマーケティング力の強化が必要である。</p>		<p>他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)</p>	<p>(評価) 必要ある (その理由)</p> <p>農産物の価格が長期低迷し、農業産出額の縮小傾向が止まらない現状においては、地域農業のけん引役である各農協等の生産販売拡大を通じた地域農業の再興に市が積極的に関与する必要がある。</p>		<p>効率性評価</p> <p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) 可能 (その理由)</p> <p>各農協等の主体的な運営体制ができれば人件費の削減は可能となる。</p>
				<p>公平性評価</p> <p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>各生産組織の組合員農家プロジェクト事業費の2/3以上は各生産組織の負担とする</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 休止</p> <p><input type="checkbox"/> 目的見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 別事業に統合</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度</p> <p>具体化</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>JA、園協、竜酪とは既にプロジェクト活動を行ってきた。花卉栽培農家で組織する飯田花卉組合については19年度中に合同プロジェクトを立ち上げて、マーケティング力強化のためのプロジェクト事業を連携実施する。</p>
---	---

【補足事項環境側面】

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>必要性がない</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>		

【指摘事項】

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	